

一般社団法人 岩の力学連合会
2025 年度 第 6 回理事会
議事録

日時	2026 年 3 月 4 日 14:00～16:45	場所	熊本大学東京オフィス & Zoom
----	----------------------------	----	-------------------

理事会	理事長	児玉 淳一	○	理事 (常任)	三谷 泰浩	○	理事	杉田 裕	W
	副理事長	佐藤 晃	○	理事 (常務)	澤田 昌孝	○	理事 (常任)	中村 大	W
	幹事長	木崎 彰久	○	理事	木梨 秀雄	○	理事 (常任)	升元 一彦	○
	理事 (常任)	中村 和男	W	理事 (常務)	林 為人	○	理事	横尾 敦	W
	理事 (常務)	中島 伸一郎	×	理事 (常任)	陳 友晴	W	理事	佐原 圭介	W
	理事 (常務)	小川 浩司	W	理事 (常務)	木下 尚樹	×	理事	杣津 雄治	×
	監事	岸本 弘樹	○	監事	佐々木 憲司	×			

敬称略順不同, ○ : 出席, × : 欠席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料 2025-理事-06-01	2025 年度第 4 回理事会議事録
資料 2025-理事-06-02	2025 年度第 5 回理事会議事録 (案)
資料 2025-理事-06-03	個人、賛助会員数報告
資料 2025-理事-06-04	2026 年度定時社員総会 (第 49 回) 開催案
資料 2025-理事-06-05	2025 年度 事業報告 (案)
資料 2025-理事-06-06	2025 年度 収支決算見込み (案)
資料 2025-理事-06-07	2026 年度 事業計画 (案)
資料 2025-理事-06-08	2026 年度 収支予算 (案)
資料 2025-理事-06-09	委員会予算 (案)
資料 2025-理事-06-10	基金からの繰り入れについて
資料 2025-理事-06-11	会員システム「smoosy」改修について
資料 2025-理事-06-12	JSRM 賞選考委員会報告
資料 2025-理事-06-13	学術会議会員への推薦のお願い
資料 2025-理事-06-14	ロードマップ 2030 (案)
資料 2025-理事-06-15	Second ISRM Commission Conference on Estimation of Rock Mass Strength and Deformability
資料 2025-理事-06-16	ARMS14 準備状況について
資料 2025-理事-06-17	2025 年度岩盤工学基礎講座 実施要領案
資料 2025-理事-06-18	ジャーナル編集委員会報告

【審議・報告事項】※印は審議事項

1. 2025 年度第 4 回理事会議事録の確認（資料 2025-理事-06-01）
議事録が確認された。
2. 2025 年度第 5 回理事会議事録（案）の確認（資料 2025-理事-06-02）※
連合会賞募集の誤りについて確認され議事録が承認された。
3. 個人、賛助会員数報告（資料 2025-理事-06-03）
2026 年 3 月 2 日時点の会員の入退会状況、会費滞納者について確認された。
2 年滞納の方は既に退職されているため、後任の方への声掛けが提案された。
1 年滞納者には関係者より声掛けし、次回理事会でも名前が挙がる場合は事務局より催促することとした。
4. 2026 年度定時社員総会（第 49 回）開催案（資料 2025-理事-06-04）※
表彰式での記念講演は合計 4 件（博士論文賞、論文賞、技術賞 2 件）であることが確認された。
記念講演の講演依頼については事務局へ確認することとした。（←受賞者へ依頼済であることを確認した。）
賛助会員の技術紹介は、小川理事より賛助会員運営委員会にて調整頂く。
懇親会会場の準備は、大林組の若手の方にご協力を頂けることとなった。
5. 2025 年度 事業報告（案）（資料 2025-理事 06-05）※
2025 年度 事業報告（案）について報告された。
事業概要(2)に、将来構想 2016 を踏まえてロードマップ 2030 作成に取り組んだ旨を追加した。ISRM への貢献、総会会場、連合会賞等に関する記載内容の誤りを下記下線部の通り修正することとした。
(1) 「1. 事業概要 (5) 国際活動概要 1) ISRM への貢献」
(修正前) 「日本からは、児玉理事長の他、岸田潔 Vice President, 升元一彦理事と三谷泰浩理事が参加した。三谷泰浩理事から 2026 年の ARMS14 の開催についての概要説明が行われた。」
(修正後) 「日本からは児玉理事長の他、岸田潔 Vice President と升元一彦理事が参加した。本会議で、2026 年に福岡で開催予定の ARMS14 のプレゼンを岸田潔 Vice President が行った。」
(修正前) 「日本からは、児玉理事長の他、岸田潔 Vice President, 升元一彦理事と三谷泰浩理事が参加した。三谷泰浩理事から 2026 年の ARMS14 の開催についての概要説明が行われた。」
(修正後) 「日本からは、岸田潔 Vice President の他、升元一彦理事が参加した。升元一彦理事から 2026 年の ARMS14 の開催についての概要説明が行われた。」
(2) 「2. 総会、理事会、常任理事会 (1) 2025 年度定時社員総会（通算第 48 回）」
(修正前) 「2024 年度社員総会は、2025 年 6 月 2 日（月）、京都アカデミアフォーラム 大会議室 C,D（東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸の内ビル 10 階）において開催された。」
(修正後) 「2024 年度社員総会は、2025 年 6 月 2 日（月）、京都大学東京オフィス 大会議室 A,B（東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸の内ビル 10 階）において開催された。」
(3) 「3. 常設委員会 (4) 岩の力学連合会賞選考委員会」
(修正前) 「3) 2023 年度、2024 年度の「技術賞」受賞者を ISRM の John Hudson Rock Engineering Award へ推薦した。」
(修正後) 「3) 2024 年度、2025 年度の「技術賞」受賞者を ISRM の John Hudson Rock Engineering Award へ推薦した。」
(4) 「4. 特別委員会 (1) バイオロックメカニクス研究企画特別委員会」

(修正前) 「・ Soils and Foundations への精選について」

(修正後) 「・ Soils and Foundations への推薦について」

(5) 「5. 岩の力学連合会賞」

(修正後) 「[博士論文賞]

In-situ stress analysis and fracture characterization in oil reservoirs with complex geological settings: A multi-methodological approach in the Zagros fold and thrust belt
Nazir Mafakheri Bashmagh (京都大学)」の記載が抜けていたため追加した。

6. 2025 年度 収支決算見込み (案) (資料 2025-理事 06-06) ※

2025 年度 収支決算見込み (案) の準備状況について報告された。

7. 2026 年度 事業計画 (案) (資料 2025-理事 06-07) ※

2026 年度 事業計画 (案) について報告された。

ARMS14 の準備、常設委員会の事業計画に関する記載内容を下記下線部の通り修正することとした。

(1) 「6. ISRM 事業への参加・協力」

(修正前) 「ARMS14 の準備」

(修正後) 「ARMS14 の準備・開催」

(2) 「8. 常設委員会 (3) ジャーナル編集委員会」

(修正前) 「第 22 巻第 1 号 (2026 年 1 月～12 月) に追加掲載される原稿」

(修正後) 「第 22 巻第 1 号 (2026 年 1 月～12 月) に新規投稿される原稿」

(3) 「8. 常設委員会(4) 岩の力学連合会賞選考委員会」

(修正前) 「2) 連合会賞「論文賞」, 「技術賞」, 「若手技術者賞」の募集, ISRM Young Rock Engineer Award, John Hudson Rock Engineering Award への推薦」

(修正後) 「2) 連合会賞「論文賞」, 「技術賞」, 「若手技術者賞」の募集, ISRM Young Rock Engineer Award への推薦」

8. 2026 年度 収支予算 (案) (資料 2025-理事 06-08) ※

2026 年度 収支予算 (案) の準備状況について報告された。

9. 委員会予算 (案) (資料 2025-理事 06-09) ※

2026 年度各委員会予算 (案) について報告された。

岩盤工学基礎講座に関する予算として、対面開催時の予算額が計上されていることが説明された。

バイオロック委員会の予算については中島理事に確認を取る。

10. 基金からの繰り入れについて (資料 2025-理事 06-10) ※

基金からの繰り入れについて報告された。資料 2025-理事 06-06 中の「③基金より繰入収入」と「③特別会計および一般会計への繰入金」の箇所は、実績額である 194,259 円 (ARMS14 準備金: 144,259 円、若手技術者の海外活動助成: 50,000 円) となることが了承された。

11. 会費値上げに伴うウェブ・会誌等の修正について※

会費値上げに伴うウェブ・会誌等の修正について確認された。

会費に関する規則 (第 11 条) の改定日を請求日前日 (2/17) としたことが報告された。

12. 会員システム「smoosy」改修について (資料 2025-理事 06-11) ※

会員システム「smoosy」改修について、所属名情報の入力、学生会員の学歴情報入力、2nd メールアドレスの追加について報告された。

学生会員から正会員への会員種別変更は卒業から 1 年後とし、会費請求を行う 2 月時点の会員種別で会費請求を行うことが了承された。

13. JSRM 賞選考委員会報告（資料 2025-理事 06-12）
令和 7 年度岩の力学連合会各賞の選考結果（論文賞 1 件、技術賞 2 件）について報告された。
14. 学術会議会員への推薦について（資料 2025-理事 06-13）
内閣府からの学術会議会員への推薦依頼について報告された。三役で協議した結果、土木系から 1 名、資源系から 1 名を推薦することが報告された。
15. ロードマップ 2030 の確認（資料 2025-理事-06-14）
ロードマップ 2030 について確認された。
16. Second ISRM Commission Conference on Estimation of Rock Mass Strength and Deformability
（資料 2025-理事-06-15）
スリランカのコロンボで 7/10 に開催される The Second ISRM Commission Conference on Estimation of Rock Mass Strength and Deformability の開催案内について報告された。
17. ARMS14 準備状況について（資料 2025-理事-06-16）
ARMS14 準備状況について報告された。3/4 現在におけるアブストラクト投稿件数は 483 件であり、論文原稿投稿期限が 4/30 であることが報告された。基調講演 8 件、ワークショップ・ショートコース 7 件、参加登録料、バンケット、技術展示、ISRM 会議、暫定プログラム、寄附金状況、作業工程表について報告された。オンラインは行わない方針であること、技術展示は海外にも依頼していること、ロックボウルが開催予定であることが報告された。
18. 2025 年度岩盤工学基礎講座 実施要領案（資料 2025-理事-06-17）
2025 年度岩盤工学基礎講座実施要領案について報告された。第 1 回（地下空洞）が 4 月 17 日（金）、第 2 回（トンネル）が 4 月 22 日（水）にそれぞれ開催予定であることが報告された。JSRM 賛助会員の参加人数には特に制限はないことが確認された。
19. ジャーナル編集委員会報告（資料 2025-理事-06-18）
ジャーナル編集委員会報告として、原稿投稿状況、編集委員会開催状況、2016 年以降の各原稿区分の掲載数について報告された。積極的な投稿の呼びかけが行われた。
20. 各委員会報告※
審議・報告事項以外の各委員会報告はなかった。
21. その他
総会資料（案）に関する書面会議を 4 月に予定していることが報告された。

次回、対面での理事会は、5 月 15 日（金）14:00～資源・素材学会会議室での開催を予定しています。

以上